

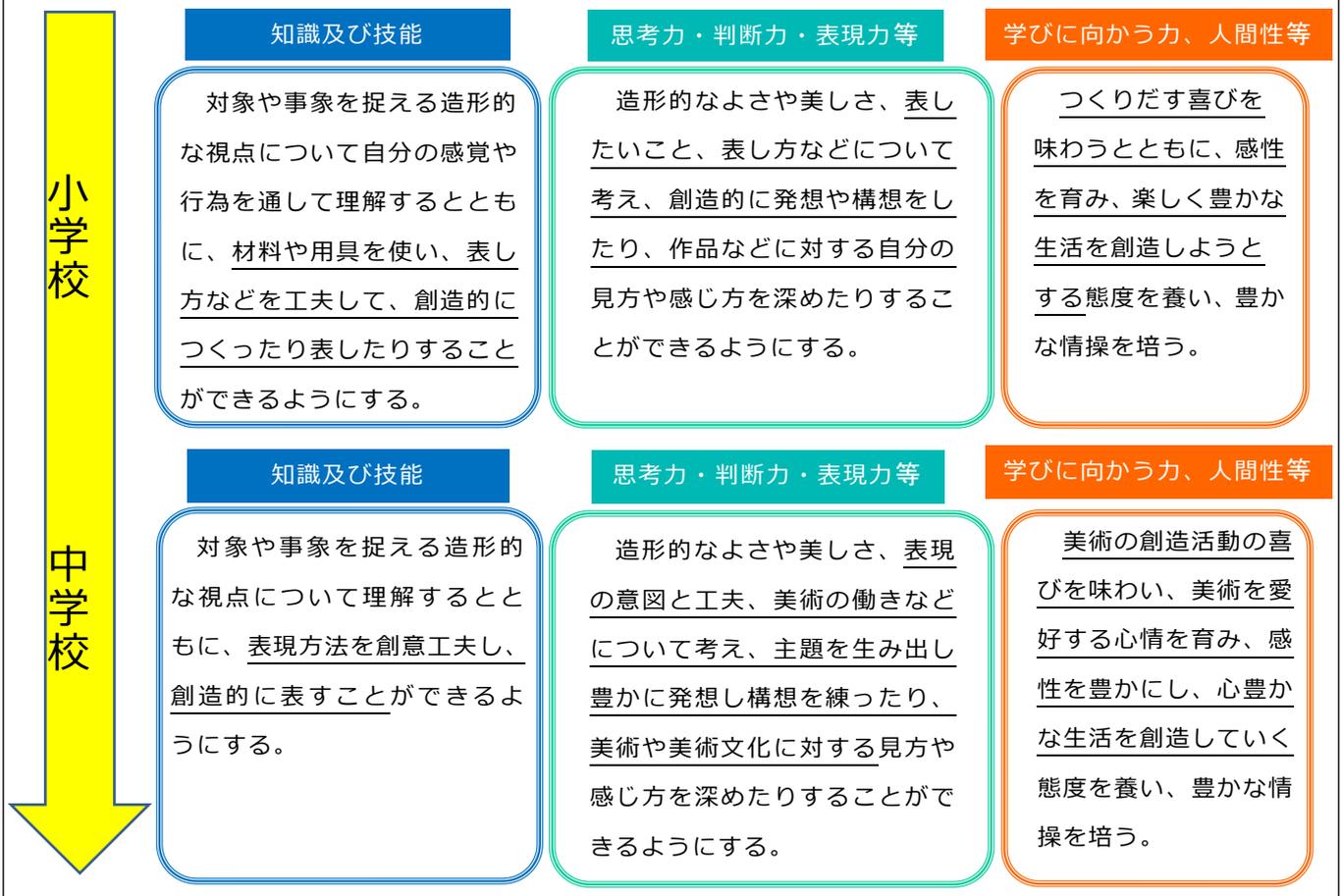
(2) ⑦ 小学校図画工作・中学校美術

育成をめざす資質・能力 ～何ができるようになるか～

図画工作科及び美術科では、生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深め、生活や社会と豊かに関わる態度を育成することについて、さらなる充実が求められています。

【小学校図画工作 中学校美術 の目標】

表現及び鑑賞の（中：幅広い）活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の（小：形や色など・中：美術や美術文化）と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。



★目標の改善

図画工作・美術における目標については、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」が一体となって働く性質があり、これらを相互に関連させながら資質・能力を育成できるよう整理されました。

具体的な教育内容の改善・充実 ～何を学ぶか～

★内容の改善・充実

三つの柱に沿った資質・能力の整理を踏まえ、内容が構成し直されています。

○「表現」と「鑑賞」を関連させた学習

感性や想像力を働かせて、表現したり鑑賞したりする資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう、内容の改善が図られています。

○鑑賞学習の充実

生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実が図られています。能動的な鑑賞活動を通して、自分の見方や感じ方を深めることが必要です。

○〔共通事項〕の改善

〔共通事項〕を、小学校では「知識」と「思考力・判断力・表現力等」、中学校では、「知識」に整理されました。「知識」は単に内容を暗記するだけでなく、実感を伴った「生きて働く知識」として身に付けることが大切です

○内容の構成と目標の関連

			小学校の目標との関連	中学校の目標との関連	学びに向かう力、人間性等
領域	表現	発想や構想に関する資質・能力	思考力・判断力・表現力等	思考力・判断力・表現力等	
		技能に関する資質・能力	技能	技能	
	鑑賞	鑑賞に関する資質・能力	思考力・判断力・表現力等	思考力・判断力・表現力等	
〔共通事項〕		「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して指導	思考力・判断力・表現力等	知識	
			知識		

👉 解説 小学校図画工作編 p.6～、p.19～、p.32～ 中学校美術編 p.6～、p.51、p.29～

主体的・対話的で深い学び ～どのように学ぶか～

《学習過程のイメージ》

「造形的な見方・考え方」（5・6ページ参照）を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図り、図画工作・美術を学ぶ必要性を実感し目的意識を高めることが重要です。

また、表現では自己との対話を深め、鑑賞に関しては他者との交流を重視する話合いや批評し合うなど、言語活動の充実も重要です。

